

ふあん…
しんぱい…
相談か?

まだ間に合う!! 実力アップの対策は?

本気で解説!



よろしくお願いします!
コラム担当チエコさん

成果をつかみ取る具体策

●成績が伸びない要因は?

9月、中学校では体育祭の前後に前期末の定期考査があります。この時期は、夏休みの過ごし方がテスト結果に反映され、学校五段階評定の分岐点にもなる大切な時期です。

「小学生時代から「勉強しなさい!」と口酸っぱく言っているのに、全然かわらない!」「うるさく言われるから仕方なくやっていると、わからないのは放置!」

同じことをくりかえしているにもかかわらず成績が伸びないのなら、ご家庭も、本人もアプローチが間違っているということ…

●成績アップに導く考え方

本気で学力をアップさせた
い!成績をなんとかしてあげたい!とお考えなら、「ご家庭として、まずお子さんが、どうしたら勉強に向かうモチベーションを高められるか?本人のモチベーションを上げて維持させるため、今までと違う方法や工夫はないか?一度見直してみたいのです。」

「叱って、やらせる」一時しのぎのエナジードリンク的な手法で期待した結果が得られないなら、少しずつでも継続して効果が期待できる漢方薬的なアプローチに「変えてみる工夫も必要です。具体的には、

「なぜやらない!」から「どうしたらできるようになる?」とボールを投げ、お子さんに自分の勉強について自分で考えてもらうようにするのがいいです。

●大きな成果につなげるには

家庭でも、本人も、しっかり考えて取り組み方を変えた、継続もした。そして、確かにほんの少し結果が出た。多くの人はそれまでの時間と努力をふりかえって、

「こんなに努力して、こんなに時間をかけたのに、たったこれだけ!」と考えがち。

でも、残りの一握りの人は、「ほんの少しだけど、結果が出た!」と考えているのです。

実は、これが、先々大きな結果を出せる人と、結果を出せない人の決定的な違いなのです。

「アプローチを変えたのに、すぐに大きな結果がでない」と、責めたり、あきらめたり、方針をころころ変えたりしては、また結果が出ない状態に逆戻りしてしまいます。

小さくても成果が出たのなら、これまでの取り組みに正しい面があった証拠。

ですから、少しでも結果につながった取り組みは大いに評価し、「継続」していくことがより大きな成果につながる!

と前向きにとらえてもらいたいです。前期評価には間に合わないかもしれませんが、「これからどうする?」を本人が真剣に考え、あきらめずに一歩ずつ目標に向かえば、学年末には必ず良い結果につながられる!と考えています。

塾通いに迷ったら…

入塾前チェック10

焦らず一呼吸確認してみて!

当てはまる項目の□にチェック! チェックが多いなら要再考。

- 塾に通う目的、目標がはっきりしていない。
- 塾のタイプ別のメリットとデメリットを知らない。
- 複数の塾をくらべずに、通う予定の塾を選んだ。
- 自分の考えより身近な人の意見を最優先している。
- 事前に塾のなかみを詳しく調べていない。
- 塾側の入塾前説明を信頼し、質問しなかった。
- 通塾への期待より、不安の方がかなり大きい。
- 塾に通えば、なんとかしてもらえと思っている。
- 塾の担当者や体験時の講師がとても親切で優しい。
- 結果が出なければ、すぐ転塾すればいいと思う。

みんなでチャレンジ! 考える力・判断力を鍛える脳トレ!!

かえで、ゆうま、はるな、いつきの4人は、年れい(3才、4才、7才、10才)も、生まれた季節(春、夏、秋、冬)もそれぞれちがいます。

かえで: わたしは、ゆうまより年上よ。
ゆうま: ぼくの年は、秋生まれの人と冬生まれの人の年の合計と同じ。
はるな: わたしは冬生まれの人より年下。
いつき: 春生まれの人は、ぼくより3才年上だよ。

だれが何才で、いつ生まれたのでしょうか?

かえでとゆうまが、おやつを買いにいきました。



かえで: 「ポテチがいいな!」
ゆうま: 「持っているお金の1/2のねだん。」
かえで: 「グミも買おうよ!」
ゆうま: 「残ったお金の1/2のねだんだね。グミを買うと70円残るね!」

対象は、小4以上!



ポテチとグミのねだん、はじめにもっていたお金はそれぞれ何円でしょうか?
自力でとけたら秀才!! 答えはウラ面下です。

